

性教育／HPVワクチンの新ルール

国際的に、性教育の概念が変わってきています。「性の多様性」や「性的同意」などの人権教育を性教育と考えるようになってきているのです。また、子宮頸がんを予防するHPVワクチンには新たに9価ワクチンが加わり、選択の幅が広がりました。子どもたちの健やかな性の健康を育むために何ができるのか。最新の性教育とHPVワクチン事情について、産婦人科専門医として性教育に積極的に取り組む高橋幸子先生に解説していただきます。



高橋 幸子

たかはし さちこ

産婦人科専門医
埼玉医科大学 医療人育成支援センター・
地域医学推進センター／産婦人科／
医学教育センター 助教

2000年山形大学医学部医学科卒業。2001年から埼玉医科大学総合医療センター産婦人科、地域医学医療センター、医学部社会医学を経て、現在、同大学医療人育成支援センター・地域医学推進センター助教。埼玉医科大学病院産婦人科助教（思春期外来担当）、埼玉医科大学医学教育センターを兼任。産婦人科専門医

いま、進めたい性教育

性教育は、人権教育

「性教育」という言葉を聞いた時、どんな内容を思い浮かべるでしょうか。これまで日本では、性教育といえば多くの方が「からだの成長」や「生殖」に関わることと捉えてきたと思います。しかし、先進国では「性の多様性」や「性的同意」などの人権教育を性教育と呼びます(表1)。

スウェーデンでは2022年秋から性教育を「sexuality, consent and relationship (セクシュアリティ、同意、人間関係)」と改名しました。そのガイドラインには「学校には生徒が教育の中でセクシュアリティ、同意、人間関係について繰り返し学べるようにする責任がある。それにより、教育はすべての生徒の健康と福祉を促進し、意識的かつ自主的な

選択を行うための条件を強化するものとします」とあります。

国際セクシュアリティ教育ガイダンス —レベル(年齢)ごとの目標

では、親や教員の立場では、どんな大人になってほしいと考えますか。

世界の性教育の指標とされる国際セクシュアリティ教育ガイダンス(UNESCO等)*1では学齢期を4つのレベルに分け、それぞれの目標を掲げています(表2)。

レベル1(5～8歳)では「自分を
知ること・自分を大切にすること・
自分を好きになること」、レベル
2(9～12歳)では「違いを認め合う」
人と人は違う・自分と人は違ってい
い」、レベル3(12～15歳)で「選択

肢を知る」、レベル4(15～18歳)で「自分で選び取る」です。

私は中高生向けに「選択肢を伝えて、自分でつかみ取ること」を励ましてきました。しかし、これまで外来で出会ってきた少女たちともつながらるのですが、レベル1、2があつてこそそのレベル3、4だと思うのです。

レベル2で「人と自分は違っていい」が落とし込めていたら、この先の思春期で他人と自分を比較して悲しい気持ちになることや、摂食障害

やリストカットといった状況を減らすことができるかもしれません。

そして、レベル1の「自分を大好きになること、自分を大切にすること」と同じくらい他人を大切に思うことも重要です。自分を大切だということ気がなければ、どんなに選択肢を知っても、「自分を守るために」自分でつかみ取るにつながらないのです。

レベル1、レベル2がいかに大切であることか！自分で自分の人生を納得してつかみ取る、そのために必要なのが包括的性教育なのです。

保健室から発信できる 家庭での性教育

学校では2023年4月より、「生命の安全教育」に取り組んでおられると思います。2023年11月、文部科学大臣からも再度、生命の安全教育に取り組むようお願いの通知がありました。

その中で「プライベートゾーン」

「NOと言われたら、友達や家族といえども遠慮する」「自分のからだに、誰が、どこに、どのような方法で触れることができるか決める権利を誰もが持っている(国際セクシュアリティ教育ガイダンス・キーコンセプト4・2より)」など「私のからだは私のもの」ということを学んでき

ます。

学校でこのような勉強をしていることをぜひ家庭に共有していただきたいと思えます。できれば授業参観や学校開放の日に授業をあてるのもよい案です。保健便りや学級便りでも保護者にお伝えいただきたいです。そして「子どもたちは性被害を受けたい時は大人に相談するように学んでいるのだ」ということをぜひ保護者に向けて発信していただきたいと思えます。

子どもがSOSを出した時に大人側がSOSを受け取る準備、二次加害になるような言葉を発しないよう大人が学び直しをしておくことが必要です。

学校での性教育推進の 働きかけについて

ところで、果たしてレベル1、2の目標を達成するのは、学校の仕事なのでしょうか。自己肯定感を育むのは、本来、家庭での役割が非常に大きいのではないのでしょうか。

そうは言っても、すべての家庭が日頃からのコミュニケーションによる性教育に注力できるわけではないかもしれません。

家庭内が暴力にさらされている場合も多くあります。子どもたちはそれを目にして生活しています。生命

表2 レベル(年齢)ごとの目標

レベル	年齢	目標
レベル1	5～8歳	自分を大切に
レベル2	9～12歳	違いを認め合う
レベル3	12～15歳	選択肢を知る
レベル4	15～18歳	自分で決める

国際セクシュアリティ教育ガイダンス(UNESCO等)より

の安全教育では「加害者にも・被害者にも・傍観者にもならないための教育」が掲げられています。教育で暴力の連鎖を断ち切ることができからです。

だからこそ、学校での性教育が必要になってくるのです。ガイダンスのキーコンセプト①「関係性」の最初の項目は「世界中に、たくさん異なる種類の家族の形があります」です。そこを踏まえて「18歳の段階でどんな行動が取れる大人に成長してほしいのか」のゴールを地域・家庭・学校で共有して、役割分担・協働することが大切です。

2000年頃からインターネットが普及してきました。性についての価値観については、ゆがんだ情報

表1 国際セクシュアリティ教育ガイダンス
8つのキーコンセプト

- ①関係性
- ②価値観、人権、セクシュアリティ
- ③ジェンダーの理解
- ④暴力と安全確保
- ⑤健康とウェルビーイング(幸福)のためのスキル
- ⑥人間のからだと発達
- ⑦セクシュアリティと性的行動
- ⑧性と生殖に関する健康

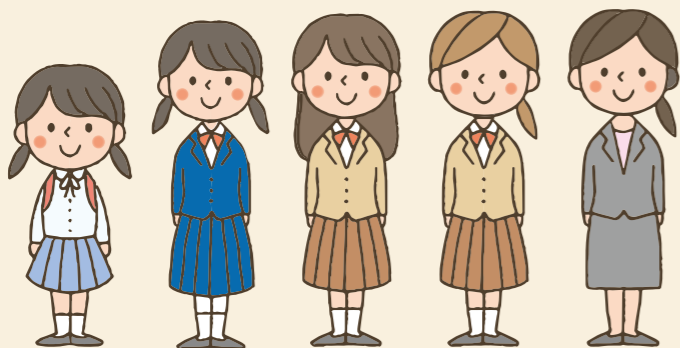


*1 国際セクシュアリティ教育ガイダンス
<https://sexology.life/world/itgse/>

性教育／HPVワクチンの新ルール

図1 HPVワクチン接種のポイント

- 9価の場合は、14歳までなら2回接種で完了
- 現中学3年生は高校1年生まで無料
- 現高校生は全員2025年3月まで
- ベストタイミングはセクシャルデビュー前
- キャッチアップ接種（～1997年度生）は2025年3月まで



②14歳までは、9価なら2回で完了
 そうは言っても、痛みの回数は少ない方がいいに決まっています。2023年の4月から9価の場合、14歳までに1回目を接種したなら2回接種で完了（2回目は6～12カ月後に接種）となりました（図1）。若年の方が抗体がより産生され、定着

しやすいとの理由からです。中学3年生には14歳と15歳が混在していますが、14歳のうちに1回目を接種して、2回目は受験が終わってから接種することをおすすめします。そして、中3になってしまっただけからこの情報を知るのではなく、中学2年生までに、できれば小6～小学校卒業のタイミングで保護者がし

HPVワクチンの最新情報

HPVワクチンの副反応は？

「HPVワクチンは、以前問題となった副反応などがクリアされたのですか？」と質問されることが多いのですが、むしろ痛みについての訴えは増えたと報告されています。しかし、名古屋スタディ^{*3}により2価、4価のワクチンの頃にいわれた、長く続く痛みやしびれなどの副反応は、接種した／しないのいずれの集団からも同様の割合で起こす人がいた、つまり「HPVワクチンと副反応との間に因果関係は証明されない」とことが明らかになっています。

HPVワクチン接種のポイント

2023年4月から2つの変更点

先に子どもたちの目に入ってしまった。「エロイ・キモイ」という感覚を持ってしまいう前、素直に生命の尊厳や感動を理解できる10歳前までに、科学的な知識を先に与えておくことが、その先ゆがんだ情報が入ってきた時に判断する基準（人生のおまもり）になります^{*2}。

「性教育、大事だな」と思っても学校の中でなかなか進めることが難しいという学校もあるかもしれませ

ベテラン養護教諭の先生から伺ったアドバイスですが、まずは学校の中に一人、味方を探してください。その際、担当教科や性別ではなく、「人」で選ぶとよいとのこと。職員会議などで提案する時に、誰か一人「それいいですね、大事ですよ」と言ってくれる仲間がいると、他の先生方も聞く耳を持つてくれるようになること。職員室でも多職種連携、チームワークが必要ですね。

がありました。①9価のワクチンが定期接種に加わった②14歳までは9価なら2回の接種で完了できる――の2点です。

①9価のHPVワクチン
 HPVワクチンには2価、4価、9価の3種類があります（表3）。それぞれ2種類、4種類、9種類のHPV感染を防ぎます。

HPVには300種類以上の型がありますが、その中で特にがんを発症しやすいのが16型、18型の2種類です。日本ではこの2種類が子宮頸がんの65～70%の原因になると言われています。

4価のワクチンは16型、18型に6型、11型が追加され、尖圭コンジローマという性感染症を防ぐことができます。

9価ではさらに5種類（31・33・45・52・58型）のHPV感染を防ぎ、90%の子宮頸がんの原因を減らすことが可能になりました。

定期接種の対象になったということは、無料で接種することができる

っかり理解できるような情報提供していただくことが大切だと思います。

15～27歳（1997年度生まれまで）のキャッチアップ接種もあと1年と少しとなりました。3回の接種を完了するためには半年かかりますから、2024年9月までには1回目を接種することを、ありとあらゆる方法を駆使して対象者に伝えていかなければなりません。

図2 HPVワクチンの男性への接種は？



世界では男性も接種対象

たちがHPVワクチンの接種を求めて署名活動を行っています。いずれ男性への定期接種も開始されると考えられますから、アンテナを高くしておいていただきたいと思

* * *

性について学ぶことは、とてもヘルシーなことです。一人ひとりが性について学んでハッピーになるのは、最低限あたり前。みんなで学ぶことで、また、大人が学ぶことで社会全体をよい方向に向けることができます。まずは大人の私たちがアップデートして、子どもたちの健やかな性の健康を育んでいきましょう。

表3 HPVワクチンの基礎知識

種類 対応する型	回数 打つ時期(月)	値段 一般的な価格	無料の対象
2価 16/18	3回 0/1/6(月)	1回 約18000円	小6～ 1997年度生まれ 女子
4価 2価+6/11	3回 0/2/6(月)	1回 約18000円	小6～ 1997年度生まれ 女子 (男子は有料)
9価 4価+31/33/ 45/52/58	3回(15歳～) 0/2/6(月) 2回(～14歳) 0/6～12(月)	1回 約33000円	【2023年4月から】 小6～ 1997年度生まれ 女子



*3 Suzuki S, Hosono A. No association between HPV vaccine and reported postvaccination symptoms in Japanese young women: Results of the Nagoya study. Papillomavirus Res. 2018;5:96-103. doi:10.1016/j.pvr.2018.02.002 http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kouei.dir/ns_Nagoya%20Study_Papillomavirus%20Research2018.pdf



*2 「おまもり」として活用できる【#つながるBOOK】 https://www.jpfa.or.jp/tsunagarubook/